

長野の林業

平成29年4月10日発行
長野の林業編集委員会

No.327

もくじ



新任ごあいさつ……………長野県林務部長……………	2
特集 平成29年度 長野県林務部の主要施策の概要……………	3
お知らせ……………「国際ウッドフェア2017」講座開催のご案内……………	6
長野県産材で家づくり……………	8
人事異動 中部森林管理局/長野県……………	9
県森連だより……………	10
長野県の木材市況……………	12



平成29年4月6日(木)に「平成29年度長野県林業大学校入学式」が執り行われました。

新入生の皆様のご入学を心よりお喜びいたしますとともに、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

〈写真 平成29年4月6日撮影〉

長野県の森林・林業・ 木材産業の新しい 価値の創造に向けて



長野県林務部長
山崎 明

この度、四月一日付けで林務部長を拝命いたしました。

私が入庁した当時は、木材の輸入自由化がずいぶん前になされていたとはいえ、住宅需要を背景に国産のスギ、ヒノキに対するニーズがあり、国産材価格がピークとなった頃です。一方、当時は、カラマツの販路が限られ、価格も伸びず、所有者の皆さんからは、カラマツ植林を指導されたが、今後どうするのかと詰め寄られる場面も多々ありました。

その後、国内の森林資源が未成熟であったこともあり、木材市場は、量・質ともに市場のニーズに応えた外材に席巻されました。

しかしながら、こうした間にも森林の育成を関係者が弛まず続けたことにより、本県の森林は、ようやく利用可能な段階を迎えつつあります。人工林資源の林齢は六十年生前後がピークになってきており、素材生産量もここ五年で一・五倍の約五十万㎡まで上昇してきています。

また、カラマツは強度等が評価され、現在で

はスギよりも高い価格で取引されています。ただ、これは適正な価格かといえ、まだまだ十分ではありません。

また、長く続いた育成の時代に山村の疲弊は進行し、森林管理の空洞化は一層深刻さを増しています。こうした中で本年度はちょうど新しい長野県総合五か年計画を立案する年に当たりますので、様々な課題と向き合い、新しい施策の方向性を検討してまいりたいと考えております。

現時点で考えている方向性を四点申し上げますと、まず一点目は、「県産材の販路開拓」です。長野県は、樹種の多様性に加え、強度、品質などで強みのある樹種がありますので、その強みを定義化しつつ、販路をさらに開拓する必要があると考えています。人口減少下で新設住宅着工が伸びない状況を迎えるとしても、品質で負けない仕組みをつくり、また、併せて非住宅分野等での木質部材の需要創出（コンクリートや鉄から木材への転換）を進める必要があります。また、優れた製品にあつては販路を海外に向けていく時機にもあると考えています。

二点目は「日本の林業をリードする人材育成」です。林業先進国オーストラリアなど中欧では、学ぶことと、技術習得することがそれぞれ選択できる仕組みが用意されていますが、こうした環境は長野県なればこそできるのではないかと考えています。最前線で、誇りと生きがいをもつて生活するために必要な仕組みを構築し、林業を学び、技術を習得したい人が長野県に集まってくるような姿をめざしたいと思います。

三点目は「森林を持続的に管理・利用する「森林社会」の実現」です。ここは課題山積ですが、地域の森林をいかに整備するかという発想から、いかに持続的な管理下に置くかという発想に立つて、今後、地域の様々な方々と議論を深めてまい

りたいと考えております。長野県が全国に先駆けて実施した航空測量の成果がGIS上で全県下閲覧可能となりましたので、そうしたデータをお示ししつつ協議を進めたいと考えております。その上で、地域の様々な方々が、観光、教育、保健、文化、健康等様々な観点から、森林資源（ジビエ、きのこ、薪など）や空間、景観等の活用が行える仕組みの構築をめざしたいと考えております。

四点目は「次世代型林業の実現」です。林業の分野では、今まで、ICTやドローンなどの最新テクノロジーの導入が進んでおりませんが、この分野は日進月歩の分野ですので、常に新しい知見のもとで、生産性が高く、かつ持続性が担保された林業の実現、森林管理・森林施業の合理化を進める必要があると考えております。既に信州大学や民間企業の皆さんと、北信州森林組合などの現場での実証作業等が始まっております。今後の状況等は追ってお知らせいたします。

なお、こうした方向性は現場の実態に即した、生きた戦略としていくことが肝要です。皆様のご意見やご提案を真摯にお聴きし、内容を深めてまいりたいと考えております。

さて、私をはじめ、林務部の多くの職員は、森林・林業に貢献したい思いで入庁した技術職です。そういう点では、森から給与をいただいているような立場でもあると考えます。森林やそれとかわる多様な人々、そして地域が少しでもよくなるよう取り組んでまいりたいと考えております。私たち職員一同、県民の皆様をはじめ、森林・林業・木材産業に携わっている皆様の信頼と期待に応えられるように、大北森林組合補助金不適正受給事案の反省の上に立ち、コンプライアンスの推進はもとより、高い志を持って職務に邁進してまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いし、就任のあいさつといたします。

平成二十九年 長野県林務部の主要施策の概要

「森林を活かし 森林に生かされる
私たちの豊かな暮らしの実現を目指して」
森林政策課

戦後植栽された木々が成長し、今まさに資源として利用すべき時を迎えており、伐って・植えて・育てる森林・林業のサイクルを取り戻すことが重要となっています。昨年は六月の全国植樹祭及び全国林業後継者大会、八月の第一回「山の日」記念全国大会と大規模なイベントが数多く開催され、本県の豊かな森林や山の魅力、林業に携わる人が生き活きと活動することの重要性、そして幾世代にもわたって大切に伝承された「木と森の文化」を全国に広く発信することができました。

平成二十九年度も引き続き、平成二十六年に制定した「信州山の日」のイベントなどを通じて、信州の森林の魅力や山の価値を広く発信していきます。

また、本年五月には「国際ウッドフェア二〇一七」を長野市において開催し、林業に関わるあらゆる最新の機器、技術、情報、国内はもとより海外からも集まる国際展示会となる予定です。多くの皆様に御参加いただく中で、平成二十五年から技術交流を進め、ウッドフェアにも特別協力いただいているオーストリアと連携しながら有意義なイベントにしていきたいです。

【関連事業】「信州山の日」推進事業

(二百六十八万八千円)



平成二十九年当初予算の一般会計の総額は、百六十億四千七百五十二万二千円です。「長野県ふるさと森林づくり条例」に基づく本県の森林づくりに関する基本的な展開方向を定めた「長野県森林づくり指針」に沿いつつ、「しあわせ信州創造プラン（長野県総合五か年計画）」の基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け、更には、「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」「信州創生戦略」の着実な推進に向け、喫緊の重要課題に対応できるよう、編成しました。

主要な施策において「長野県森林づくり指針」の基本方針に沿って、説明します。

「みんなの暮らしを守る森林づくり」

地域社会の生活基盤となる森林の質や価値を向上させ、森林の持つ様々な機能をより高度に発揮させるため、計画的な間伐の推進や防災・減災のための森林整備等を推進します。

一 災害に強い森林づくりの推進

森林整備、治山施設整備を組み合わせて、山腹崩壊等が発生しにくくし、また、発生したとしても被害を軽減できるような森林づくりに取り組みます。また、既存治山施設の長寿命化を図るため、施設の健全度診断を実施し、計画的な補修を行っていきます。

またたけ生産等による地域振興などに重要な役割を果たしている松林を松くい虫による被害から守るため、「守るべき松林」と、その周囲で被害の拡大を防止する「周辺松林」とに区分し、選択と集中による防除対策を展開します。

【関連事業】公共治山事業(四十億五千四百六十一万九千円)

県単治山事業(二億五千五百七十七万五千円)

松林健全化事業(二億七千三百九十九万五千円)

二 実行性のある森林計画制度の確立

森林法の改正により、市町村は森林所有者等の情報を集約した林地台帳を整備し、平成三十一年度から公表することとなりました。県としては林地台帳の原案を一括作成して、管理・運用するソフトも含めて市町村に提供することで、効率的な施策を進めるための基盤を構築します。

【関連事業】地域森林計画編成費

(一億三千七百九十二万三千円)



三 適切な主伐・更新施業

長らく主伐が行われてこなかったことによる経験不足や林業のサイクルの中でもとりわけコストがかかる伐採後の造林等の作業をいかに合理化するかがコスト低減の力ギとなります。そこで、伐採から植栽までの一連の低コスト作業をモデル的に行い、作業の効率性や事業収支など必要なデータを収集・検証することで、造林経費の低コスト化を図る取組を推進します。

また、再造林に欠かせない苗木については、優良な種子を確保するとともに、採種園の新規造成・整備・更新を行うことで、低コスト苗木の安定供給を図ります。

【関連予算】

低コスト造林一貫作業システム導入モデル促進事業
(四百九十九万八千円)

林業用優良苗木生産指導事業費(一千三百九十二万八千円)



一 林業経営団地の設定及び林内路網整備等の推進

林業事業体等が行う森林施業の集約化や森林経営計画作成の取組を支援するとともに、県産材を効率的、安定的に供給する基盤となる林道、林業専用道や森林作業道などの林内路網を整備します。

また、木材の生産コストの低減と労働安全性の向上を図るため、高性能林業機械の導入を支援するとともに、安全で効率的な操作を行うことのできる人材の養成研修を実施します。

【関連事業】

森林整備に直結する作業道整備事業費(七千七百円)

高性能林業機械導入推進事業
(八千二百六十八万九千円)



四 計画的な間伐の推進

地域資源の活用を図るため、間伐材の搬出・利用を引き続き推進します。長野県森林づくり県民税を活用した集落周辺の手入れの遅れた里山の間伐の推進について、特に小規模・分散的な森林において、県単独事業を強化しつつ地域の要望に応えた整備を進めます。

【関連事業】

信州の森林づくり事業(二十五億六千二百七十六万二千円)
みんなで支える里山整備事業(六億八千四百二十二円)

「木を活かした力強い産業づくり」

本県の有する豊富な木材資源を活用して地域づくりを進めるため、計画的な木材生産、県産材製品の安定供給、建築、エネルギー等への県産材の利用促進に総合的に取り組みます。

二 担い手対策の推進

長野県森林組合連合会が森林組合に対して専門家を派遣し、森林組合の経営、会計、事業等に関する診断・改善指導等を行う取組を支援します。

また、「信州フォレストコンダクター」が、各地域の林業・木材産業において経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮していくために、県と連携して各地域で行う活動のための基盤づくりの取組を支援するとともに、活動事例の情報発信を行います。

【関連事業】

森林組合経営改善支援事業費
(百七十四万八千円)

信州フォレストコンダクター活動支援事業(百十八万一千円)



三 県産材の生産加工流通体制整備の推進

信州F・POWERプロジェクトにおいて、製材工場が本格的に稼働しており、今後増加が見込まれる県内の木材需要に対応すべく、「サプライチェーンセンター」を中心とした県産材の安定供給体制の構築を進めます。

また、林業立国でありバイオマスエネルギー先進国でもあるオーストリアとの覚書に基づき技術交流を集中的に進め、高性能林業機械や高性能バイオマスボイラー等の先進的な機械導入に対する支援等を実施し、総合的かつ計画的に先進的技術の導入を推進します。

【関連事業】 信州の木自給圏構築事業（一千二百四十七万円）

長野・オーストリア林業技術交流事業費（三百万円）

四 様々な用途での県産材需要の拡大

木材を建築や土木用資材、家具・建具等の暮らしの中の製品など様々な分野で活用していくとともに、低質材や製材加工で発生する端材など木質バイオマスを燃料として活用するなど、県産材を余すことなく活用することが必要です。

このため、「信州型接着重ね梁」をはじめとする県産材の認知度の向上や首都圏、中京圏での県産材の販路拡大を図ります。

さらに、木質バイオマスエネルギーの活用促進のため、公共施設への木質バイオマスボイラー等の導入に支援するほか、市町村が行う個人へのペレットストーブ導入促進を支援します。

【関連事業】 県産材振興対策事業費（一億八千三百四十万円）

森のエネルギー総合推進事業（一億一千八百六十二万四千円）



「森林を支える豊かな地域づくり」

人口減少社会にあつて山村の活力を高めるには、就労の場の確保や都市部

等との移住交流が重要であり、主要な産業である農林業のみならず、森林空間、山菜やきのこなどの特用林産物、木工品等の地域資源を有効に活用する取組や交流の取組などを支援します。

また、依然として農山村に深刻な影響を与えている野生鳥獣被害の総合的な対策を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

一 地域特性に応じた森林経営・森林資源の活用・交流促進

本県は、森林の持つ癒し効果等を健康増進に役立てる「森林セラピー基地・ロード」が十か所と、全国一多い県となっています。部局間連携による森林セラピー体験プログラムの開発、企業向けの森林セラピー活用講座の開催、シニア大学等での森林セラピーに係る講演などを通じ、名実ともに全国一の森林セラピー県を目指します。

【関連事業】 全国一の森林セラピー県推進事業費（二百九十三万二千円）

二 野生鳥獣被害対策の推進

ニホンジカが従来生息していなかった県北西部にも分布を広げており、農林業や自然生態系に深刻な影響を及ぼしています。野生鳥獣による被害の実態は地域によって異なっていることから、市町村等が取り組む対策に対して引き続き支援を行うとともに、集落ぐるみの複合的、総合的被害対策等を支援します。

また、「ジビエ」といえば信州」を目指し、新たなブランド化の可能性を検討するほか、シカ皮等の商品開発、信州ジビエを強力で発信できる料理人の認定など、捕獲したシカを地域資源として有効に活用する取組に支援することで、農山村の活性化に貢献します。

【関連事業】 野生鳥獣総合管理対策事業費（二億九千八百五十二万円）

信州ジビエ需要拡大総合対策事業費（一千二百七十三万三千円）



国内初!「国際ウッドフェア2017」が

長野市で開催されます

【県産材利用推進室】

県ではこれまで、平成二十五年度にオーストリアと締結した覚書に基づき、現地調査や調査結果を普及させるためのフォーラム等を開催してきました。

昨年度から、今までの取組をさらに深化させる段階として、技術者を招へいしたバイオマス機器等の導入検討会の開催、機械展の開催に向けた調整を関係機関と行っており、国内で大規模展示会の開催を検討していたオーストリア側の意向とも合致し、この度、「国際ウッドフェア」の長野市での開催が決定しました。

本イベントでは、高性能林業機械、木質バイオマス関連機器を中心に森林・林業に関わる多くの分野の展示が行われます。

また、会場内や近接する若里文化ホールでは、多くのセミナーや研修会等も開催されます。視察や研修の場にもなりますので、是非、ご来場いただければと思います。

フェアの概要と、会期中に開催される行事のうち、オーストリアの研修機関が実施する講座と長野県に關係する主な行事についてご紹介します。



平成26年にオーストリアで開催された木材展示会の様子

日時

平成二十九年五月二十四日(水)から
二十六日(金)まで

場所

ビッグハット 長野市若里三一二二二

主催

フジサンケイビジネスアイ

共催

クラーゲンフルターメッセ
(オーストリア展示会事業者)

特別協力

長野県、オーストリア大使館商務部

後援
(県内関係分)

長野県森林組合連合会、長野県木材協同組合連合会、長野県森林フォーラム実行委員会、長野県海外林業技術等導入促進協議会

内容

国内及び海外の林業機械、木質バイオマス関連技術、木造建築技術等に関する最新の機器等の展示。併催企画として、技術セミナーや基調講演、シンポジウム等を開催

ホームページ

<http://www.woodfair.jp/>



オーストリア研修機関による2講座のご案内

- 日 時：5月24日（水）から26日（金） ※3日間連続の講座です
- 場 所：若里市民文化ホール（ビッグハット隣）
- 講座内容

講座1 オーストリア・ピヒル森林研修所「日本人向けバイオマス技術特別講座」

「エネルギー用木質バイオマス整備」・「整備の多様性、コスト、ポテンシャル、ラインアップ、ロジスティック」・「オーストリアにおける再生可能エネルギーの現状」・「木材からのエネルギー：整備、消費者の現状、可能性」・「バイオマス整備の原価計算、バイオマスプラント紹介」・「木質バイオマス活用、ロジスティック」・「バイオマスプラント企画の紹介、設計、建設、熱販売、成功法」・「地域暖房計画で事例に基づく分析」・「経営者の課題、大規模・小規模プラントのメンテナンス」・「日本国内の実績・体験講義」など

講座2 オシアッハ森林研修所「日本人森林技術関係者向け特別講座」

「高い収益性のためのフレームワーク」・「生態と経済の調和、森林における生態系と森林管理」・「森林地帯の総合的な開発計画、森林開発計画の作成」・「林道、貯木場、他林業施設などの計画と建設」・「各発展段階における森林の保護（限られた時間の有効活用）」・「労働作業教育：森林作業時の指導方法」・「熟練した森林作業員を養成するための訓練（グループ作業）」・「作業時の任務と指示」・「伐採の機械化と適切な計画によるコスト削減」・「スキッダーと架線集材機の使用計画・伐採に関する試算と清算」・「作業時の安全：事故防止のための作業手順」・「日本の実績・体験講義」など

- 費 用：70,000円/1講座（一人で両方の講座を受講することはできません）
※参加費の中には、交通費・宿泊費・食費は含まれていません。

○申込み方法

下記のホームページの「お申し込み方法」から申込書をダウンロードし、必要事項記載の上、5月19日（金）17:00までにお申し込みください。

<http://www.a-forum.jp/news/news170214.html>

長野県に関係する行事等

5月24日（水）

【午後】森林の防災・減災講座2017（主催：森林づくり推進課治山係）

5月25日（木）

【午前】長野県森林フォーラム（主催：森林フォーラム実行委員会）

【午後】林業関連学校意見交換会（主催：林業大学校）

【午後】全国の自治体による海外林業技術交流成果発表会
（主催：海外林業技術等導入促進協議会）

【午後】長野県林業総合センター研究成果発表会（主催：林業総合センター）

※それぞれの行事の詳細は、後日ホームページ等でご案内します。



長野県産木材で

家づくり

県産木材がいい3つの理由。

- ▲ 1 信州で育っているから、
気候風土に適して丈夫で長持ち！
- ▲ 2 信州の林業・木材産業を元気にします！
- ▲ 3 信州の森林の再生・地球温暖化に貢献します！

県産材の証明は！

信州木材認証製品センターが証明しています。

長野県木材協同組合連合会

 〒380-8567 長野市岡田町30-16(長野県林業センター内) TEL.026-226-1471
 E-mail:inkenmokuren@siren.ocn.ne.jp http://kenmokuren.shinshu-kiraku.net/

4月 記念市のご案内

- ◆ 製品 {花まつり市} 第43回全木協連優良国産材製材品展示会
 〈本部事務所〉 4月22日(土) セリ 売り出し9時 保証金10万円
- ◆ 原木『春季謝恩市』
 〈荻原事務所〉 4月25日(火) 入札開札 13時 保証金10万円
 〈坂下事務所〉 4月24日(月) 入札開札 13時 保証金10万円

5月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
新緑まつり 5月20日(土)	5月23日(火)	5月10日(水) 5月24日(水)	5月9日(火)
入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。			

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

理事長 野村 弘

 本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45
 ☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

 荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1
 やぶ原土場：長野県木曽郡木祖村数原844-1
 坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172



中部森林管理局

人事異動

平成29年4月1日付

次長（名古屋事務所長）

金口 健司

中信森林管理署長

角 秀敏

東信森林管理署長

澤山 秀尚

総務企画部総務課長

上條 浩明

総務企画部経理課長

中嶋 勝浩

計画保全部計画課長

富岡弘一郎

計画保全部保全課長

大平 重利

計画保全部治山課長

開藤 直樹

森林整備部技術普及課長

高嶋 正明

総務企画部専門官

（契約適正化・債権管理担当）

竹之内英夫

総務企画部専門官

（契約適正化担当）

宮澤 昌弘

総務企画部総務課企画官

（安全衛生担当）

上田 喜幸

総務企画部企画調整課監査官

大坪 幸治

総務企画部企画調整課監査官

郷原 辰実

森林整備部企画官

（間伐推進担当）

佐々木伸也

森林整備部企画官

（木材需給対策担当）

木村 敏宏

総務企画部企画調整課企画官

（業務調整担当名古屋事務所副所長）

木島 伸悟

北信森林管理署次長

三島 文雄

中信森林管理署次長

中村 栄一

東信森林管理署次長

北村 大

南信森林管理署次長

由井 克彦

岐阜森林管理署次長

千葉 求

東濃森林管理署次長

花川 浩

長野県林務部（課長級以上）

人事異動

平成29年4月1日付

林務部長 山崎 明

林業総合センター所長

宮 宣敏

県庁 課室

森林政策課

森林政策課長 福田 雄一

企画幹兼課長補佐

秋和 政一

企画幹 千代 登

信州の木活用課

信州の木活用課長 河合 広

主任林業専門技術員

三澤 雅孝

県産材利用推進室

県産材利用推進室長

丸山 勝規

森林づくり推進課

森林づくり推進課長

長谷川健一

企画幹兼課長補佐兼県営林係長

加藤 千洋

企画幹兼保安林係長 清水 靖久

地域振興局林務課

佐久 課長 小島 和夫

上伊那 課長 宮崎 隆幸

南信州 課長 高橋 明彦

木曾 課長 小田切昌彦

企画幹兼課長補佐兼普及林産係長

越原 道廣

松本 課長 春日 嘉広

北アルプス

課長 柴田 昌志

林業総合センター

研究技監兼特産部長

増野 和彦

管理部長 田中 雅順

指導部長 松原 秀幸

林業大学校

企画幹兼教授 比田井 章

林業公社

森林管理課長 中島 治

松本市へ派遣

耕地林務課森林整備担当課長

秋山 巖



長野県森連職員会議および コンプライアンス研修会開催

長野県森連では平成29年4月3日(月)に林業センタービル(長野市)にて、職員会議およびコンプライアンス研修会を開催しました。

職員会議は、この時期に例年開催されているもので初めに、辞令交付、会長・専務理事挨拶が行われました。

専務理事挨拶では、新系統運動「JForest 森林・林業・山村未来創



藤原会長による挨拶



活発に行われた協議

造運動「次代へ森を活かして地域を創る」において、コンプライアンス態勢強化が掲げられており、森林組合が早い時期に組合員・県民の皆様にも再度認めて頂ける組織となれるよう信頼回復に努めていくこと、労働災害防止は、事業主と労働者が一体となって推進することが重要で、安全対策が労働生産性を高める秘訣であり、林業に魅力を持ってもらうには災害の

無い、知能労働に見合う収入が得られることが必要で、担い手確保のためにも減災と待遇改善を推進しなければならぬこと、信頼回復のためにも長野県の森林組合系統が全国の模範として行うことを宣言し実行すること等が述べられました。

続いて、(1)コンプライアンス態勢の推進についてとして①連合会の取組について②県下森林組合の取組について、(2)事業全般の意見開陳について、(3)安全大会の実施について等幅広い内容について活発な協議が行われました。

◆ ◆ ◆
コンプライアンス研修会は職員会議に引き続いて開催されました。

研修会では、農林中央金庫関東業務部より講師として佐藤秀幸氏をお招きし、全職員を対象に、コンプライアンスが求められる時代的背景、コンプライアンスに関する主要事例・トピックス、コンプライアンス態勢の構築と役員の責任などを学びました。



農林中央金庫佐藤秀幸講師によるコンプライアンス研修

佐藤講師は、組織の実情に応じた、適切なコンプライアンス態勢を構築すること、繰り返し、繰り返し



真剣に受講する職員



県職協青木会長あいさつ

長野県林業職員協会総会開催

返しコンプライアンスの重要性を教育、研修し、コンプライアンスを重視しようとする意識や雰囲気を作ることで、悪い情報ほど早くトップに伝えるなど、不祥事・苦情等の速やかな報告が行われる組織を構築すること等が重要であると講義されました。

森林組合系統におけるコンプライアンス態勢の強化は、不祥事案の再発防止、森林組合に対する信頼回復、森林組合系統の健全な発展のためにも重要な取り組みであり、連合会職員一人ひとりの責任と自覚を持った取り組みが求められています。

3月23日(木)、林業センタービル(長野市)にて、長野県林業職員協会の通常総会が開催されました。

総会は青木会長による挨拶の後、長野県森連・滝澤代表理事専務より来賓祝辞をいただきました。

議事は、会長を議長に進められ、第一号議案・平成28年度事業報告ならびに収支決算書承認、第二号議案・平成29年度事業計画ならびに収支予算書(案)決定、第三号議案・平成29年度会費額および払込時期の決定についてまで、全三議案が審議の上、原案通り承認・決定されました。

本協会では、林業に従事する職員がより一層の団結を行い、この



ソヤノウッドパークの視察



県森連滝澤専務による来賓祝辞

素晴らしい森林を未来に継承していくための方策を見出すことを目的として、様々な活動を行いました。

平成28年度は、第43回中部6県職員連盟ブロック会議が松本市で開催され、皆伐後の更新状況(植栽等)について、木材利用の促進事業等の状況について、女性職員の採用、配置・育成、登用等についての協議・情報交換および塩尻市の征矢野建材(株)(ソヤノウッドパーク)の視察を行いました。

また、県大会では、林業技術競技会および、松本広域森林組合が実施するアカマツの更新伐現場の視察を安曇野市において行いました。



松本広域森林組合による更新伐現場の視察

長野県の木材市況

平成二十九年四月十日発行 長野の林業通巻三二七号

発行長野の林業編集委員会
事務局 長野市岡田町長野県林業センター内
(一社)長野県林業普及協会
(一社)長野県林業センター

電話〇二六(二二七)五〇一五
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
電話〇二六(二二六)五六二〇
Eメール rintukyo@giga.ocn.ne.jp

第987回 市売市況表

(平成29年 3月30日実施)

長野県森林組合連合会

伊那木材センター

Tel 0265-72-2684

Fax 0265-76-8759

〇 強気配

- 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備 考
ひのき	3.0	直	14～16	10,000	8,000	△	直造材でお願いします。
		直	18～22	15,000	14,500	△	柱材需要期過ぎる。
	4.0	直	14～16	15,000	8,000	○	4 m材土台取りに引き合いあり。
		直	18～22	16,000	13,000	○	直造材でお願いします。
		直	24～28	14,800	13,000	○	曲材は引き合いが悪い。
		元	40上	30,000		○	
	6.0	直	18上	21,100		-	
すぎ	4.0	直	30上	15,000	10,000	-	良材に高値、直造材でお願いします。
		直	24～28	13,000	9,500	-	
		曲	20上		7,000	-	
	4.6	直	38上	56,400		-	
	4.0	直	18上	13,000	8,500	○	
さくら	2.0	直	40上	37,000		○	広葉樹太物良材に応札活発。
	4.0	直	50上	68,000		○	
	2.0	直	30上	30,500		○	
くり	4.0	直	18～24	23,000		○	
	からまつ	直	18	13,000	10,000	○	材が不足しています。出品をお願いします。
4.0		直	20上	12,000	10,000	○	
		直	14～16	8,000	4,000	○	
あかまつ	4.0	直	24上	9,000	7,600	△	長材、短材、需要時期過ぎ、価格低迷。矢板材に限り需要あり。
	6.0～8.0	直	18上	30,000		△	

出品量 1,552㎡ 販売量 1,551㎡ 落札率 99% 買い方 30社

今回の市売りでは、出品量は少なかったものの応札数は多く、活発な市売りになりました。需要時期が過ぎている材があることから価格は若干伸び悩んでおりますが、樹種問わず御出品よろしく申し上げます。尚出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。現場休業のお知らせがあります。職員会議及び労働安全衛生推進大会のため、誠に勝手ながら当センター現場業務を休業いたします。日時は4月3日(月)と4月15日(土)です。皆様には大変ご迷惑おかけいたしますがよろしく申し上げます。

第989回 市況表

(平成29年 3月29日実施)

長野県森林組合連合会

中信木材センター

Tel 0263-77-2347

Fax 77-2349

〇 強気配

- 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	12,000	9,000	-	3.0m×14~18cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	30~48	13,000	11,000	-	
	4.0~7.0	元	36~72	25,000	12,000		
ひのき	3.0	直	20上	16,000	13,000	-	材不足していますが並材値段横這い。
	4.0	直	20~28	16,000	14,000	-	
	1.8~7.0	元	36~70	43,000	20,000		
からまつ	4.0	込	6~13	10,000	8,000	〇	材不足しています。ご出品をお願いいたします。
		直	14~18	12,500	8,000	〇	
		直	20上	14,000	12,000	〇	
		曲	14~18	6,000	5,000	-	
あかまつ	4.0	込	20~40	10,000	7,000	〇	
		込	18~24	12,000	6,000	△	需要期を過ぎ全般的に価格低迷。3・4月の伐採は控えてください。
あかまつ	6.0~11.0	込	26上	20,000	8,500	△	
		込	36~62	110,000	10,000	△	
くり	2.0~4.0	込	16~40	44,000	15,000	〇	
からまつ	2.0~7.6	直	16~36	80,000	20,000	〇	良材に高値。広葉樹、応札活発ご出品下さい。
からまつ	2.0~5.6	込	14~90	250,000	一本売	〇	
からまつ	4.0	込	18~36	18,000	14,000	〇	
からまつ	2.0~3.4	込	22~36	80,000	17,000	〇	

出品量 3,430㎡ 販売量 3,305㎡ 落札率 96% 買い方 45社

広葉樹、ヒノキ、カラマツはほとんどが完売し春の訪れとともに賑わいのある市売となりました。しかしながらアカマツは需要期が過ぎまったく売れませんでしたので当分伐採をひかえた方が良いと思われます。尚、4月3日(月)は職員研修のため臨時休業させていただきますのでご理解ご協力をお願いいたします。当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1021回 市売市況表

(平成29年 3月30日実施)

長野県森林組合連合会

北信木材センター

Tel 026-295-5546

Fax 026-295-5547

〇 強気配

- 保合 △ 弱気配



樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,000	9,000		柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	10,000		直造材でお願いします。
		直	16	16,000	13,000		直造材でお願いします。
	4.0	込	8~13	5,500	4,500		需要あり。出品願います。
		直	14~20	12,500	9,500		出品願います。
		直	22~28	14,000	11,000		需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	18,000	11,000		直造材で出品願います。
		曲	14~18	6,000	4,000		
		曲	20上	11,000	8,000		
	5.0	直	30上	18,000	12,000		伐採前にご相談ください。
		込	9~13	9,500	6,000		細物直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	11,000	8,000		直造材でお願いします。
からまつ	3.0	込	6~13	11,000	6,000		需要あり。直造材を心がけて下さい。
		直	14~18	12,500	9,000		出品願います。
		直	20上	18,000	12,500		需要あり。積極的に出品願います。
	4.0	直	14~18	6,000	5,000		
		曲	20上	13,000	11,500		
		直	26上	22,000	14,000		直造材を心がけて下さい。
	5.0~6.0	直	13~18	16,000	13,000		土木需要あり。出品願います。
		直	64	144,000			
すぎ銘木	6.0	直	74	200,000			約250年生
	6.0	直	90	143,000			
	6.0	直	58	133,000			
	5.0	直	70	145,000			
	6.0	直	68	110,000			
かつら	4.0		50	130,000			
くま	3.6		50	120,000			

出品量 2,361㎡ 販売量 2,294㎡ 落札率 97.2% 買い方 53社

今回は、スギの銘木と広葉樹の大径木を中心とした出品となり、新規のお客様も多く、大変賑やかな市売りとなりました。市況といたしましては、スギ・カラマツともに中目に需要が多く、価格も安定しております。現在、当センターの入荷量も少なくなっておりますので、ぜひとも積極的な出荷をお願いします。広葉樹については、今回は大径木に高値が見られましたが、これからの時期は材質劣化が早く、高値販売が難しくなりますので、伐採予定の方は事前にご相談をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず【合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の】納品書の提出をお願いします。

第485回 木材共販市況表

(平成29年 3月23日実施)

長野県森林組合連合会

飯伊森林組合木材共販所

出品量 1,700㎡・買い方 18社・落札率 94.0%

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円)	平均値 (円)	平均石値 (円)	備考
ひのき	2.0		18~30	32,000	12,000	3,360	
	3.0	直	14	9,000	8,000	2,240	
		元直	16	16,000	13,000	3,640	
		込	18~22	25,000	17,500	4,900	
		込	24~28	23,000	16,500	4,620	
		中込	16~22	17,500	13,000	3,640	
		込	24~28	16,000	13,000	3,640	
		元	30上	25,500	21,000	5,880	
		元直	16~22	25,000	17,000	4,760	
		元	24~28	23,000	20,000	5,600	
		30上	33,000	25,000	7,000		
		中直	12~14	9,000	8,000	2,240	
すぎ		込	16~22	15,000	13,000	3,640	
		込	24~28	17,000	13,000	3,640	
	4.0		12下	360	300		一本売り
	4.0	込直	16~18	8,500	7,500	2,100	
		込直	20~22	10,500	8,000	2,240	
		24~28	13,600	10,500	2,940		
からまつ		30上	14,000	12,500	3,500		
	3.0		18~22	8,000	7,500	2,100	
		24~32	11,000	9,500	2,660		
	3.0	直	14~22	5,000	4,500	1,260	
	4.0	込	12~14	5,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	5,000	1,400	
からまつ		込	18~28	12,500	8,000	2,240	
		直	30上	13,500	9,000	2,520	
		小曲り	14~30	5,000	3,500	980	
		直	12下	360	270		一本売り
あかまつ	4.0	直	20~24	8,000	6,500	1,820	
		26~28	9,500	7,500	2,100		
		30~42	12,500	11,000	3,080		

総評
ひのき、出荷量、良材少なく、価格はやや下げ気味。柱、土台材はやや不足で引き合いあり。すぎ、活発に応札あるが、良材少なく価格は伸びず。あかまつ3月に入り引き合い少なく価格伸びず。からまつ品薄で引き合いあり、やや価格上昇。けやき、さくらなど広葉樹の出荷あるも、引き合い薄く価格伸びず。出荷量が少ない状況です。今後の出材に期待します。出荷協力いただきありがとうございました。